

第 21 回会津若松市環境大賞受賞者（令和 4 年度）

受賞名	区分	個人／団体／事業所名	功 績 内 容
環境大賞	事業所	株式会社 三義漆器店	<p><功績></p> <p>◆事業所から鶴ヶ城までの清掃活動を 7 年前から始めた。その後、賛同者が増え 10 社 200 名を超える規模となった。（現在はコロナ禍により、規模を縮小し企業単位で工業団地や河川敷の清掃活動を行っている。）</p> <p>◆「水や洗剤の使用を抑える事のできる」塗料をメーカーと共同開発し、環境配慮型商品として製品化することに至った。</p> <p>◆2019 年秋、海洋マイクロプラスチックごみ問題に触発され、地球にやさしい素材（生分解性プラスチック）による製品開発に取り組んだ。その後、「会津清酒」と「会津漆器」を融合させた酒器・盃を作り、この商品がドバイ国際博覧会での日本パビリオン VIP 来場者向け記念品に採用された。また、生分解性プラスチックを用いたタンブラーを開発した。</p> <p><選考結果></p> <p>2019 年秋に海洋マイクロプラスチックごみ問題に触発され、地球にやさしい素材である生分解性プラスチックを開発し、商品化されております。さらに、その素材を海外へ PR するなど地域を越えて国際的に活動しており、将来的な発展が大いに期待されるものと高く評価できます。</p> <p>今後も会津から世界へ新しい「カーボンニュートラル」や「SDGs」のあり方を発信されるよう期待しております。</p>
環境賞	個人	渡部 敏夫 渡部 智子	<p><功績></p> <p>◆5 年前より節電の目的で太陽光発電を導入。その後、eco キュートや蓄電池を導入した。太陽光発電を設置した結果、電気代が大幅に減り、節約にもつながった。</p> <p>◆電気使用量を最小限にするため、冬季は断熱シートを使用している。</p> <p>◆ごみの分別を徹底している。野菜のへたもスープとして料理に使用しているため、生ごみは 1 週間にひとにぎり程度。</p> <p>◆区長として、花いっぱい活動に参加し、町内の道路脇に花のプランターを置いたことで、町民の癒しとなっている。</p> <p>◆アイドリングストップ搭載のエコカーに乗っている。</p> <p>◆ウォーキング時はごみ袋を持ち、ごみが落ちていたら拾っている。</p> <p><選考結果></p> <p>自宅で再生可能エネルギーである太陽光発電を取り入れたり、生活において省エネを積極的に実践したりしており、環境に対する意識が高く、他の市民の模範となります。</p> <p>同様の取組が各家庭に広がることで、環境意識の醸成やより一層のカーボンニュートラルの推進につながると期待しております。</p>
	個人	御宿 東鳳	<p><功績></p> <p>◆当館駐車場内に IoT 技術を応用した電気自動車充電サービス「WeCharge」4 基設置となる。また、お部屋からマイカーが見れる宿泊プランを販売。</p> <p>◆食べ残し削減の案内告知するなど食品ロス削減に取り組んでいる。</p>

受賞名	区分	個人／団体／事業所名	功 績 内 容
			<p>◆貸衣装屋において廃版となった使用しないドレスをレンタルし、お客様が自由にセルフで着用できる宿泊プランを実施しており、ドレスの再利用に取り組んでいる。</p> <p>〈選考結果〉 4基の電気自動車充電設備を設置していることに加え、電気自動車の利用者向けの宿泊プランを設けており、画期的な取組をされていることから高く評価され、今回の受賞となりました。今後、カーボンニュートラルに向けたさらなる取組に期待しております。</p>
美化部門	個人	中島 義夫	<p><功績> ◆平成13年より、桧町内の緑化愛護会の世話人として活動している。 ◆花壇の地ならし、植花デザイン、花苗植付、除草、散水作業等細やかな作業を会員に適切に指示している。また、全体作業27回のうち13回を個人作業として肥料散布や消毒等積極的に花壇の美化に関わってきた。 ◆公園の落ち葉は、ごみとして出さず腐葉土として花壇に使用している。 ◆市民憲章花園コンクールでは複数回受賞経歴あり。</p> <p>〈選考結果〉 長年にわたり、地区の美化活動の世話人を務めており、こうした活動を先導してきたことが高く評価されました。今後もこうした活動を継続し、他の市民の模範となる取組をされることを期待しております。</p>
美化部門	事業者	東北電力グループ	<p><功績> ◆事業所構内を含めた周辺のごみ拾いや除草などの美化活動を定期的実施している。 ◆リサイクル活動の一環として、事業所内にてペットボトルキャップの回収を行い、1年に一度程度リサイクル業者（荒川産業様）への持ち込みを行っている。持ち込んだペットボトルキャップは荒川産業様により粉碎のうえ、再資源化業者へ売却され、売却益が「NPO 法人世界の子供にワクチンを日本委員会」へ寄付されることにより、ポリオワクチンの購入費用となる。</p> <p>〈選考結果〉 事業所構内だけでなく、事業所周辺の美化活動や地域で実施されている各種清掃活動に参加するなど、地域とのつながりを大切にしながら美化活動に取り組まれていることから高く評価され今回の受賞となりました。今後もこうした活動を継続し、他の事業者の模範となる取組をされることを期待しております。</p>
環境教育部門	団体	湊小学校	<p><功績> ◆水資源と地域のつながりを体感する環境学習 「森林を学ぼう」 川の源流は森林につながっていることや、森林が水質を守ってくれていることを講義・観察から学んだ。 「森林保全と水のつながりの学習」 森林の水質の保全活動として、環境保護の大切さと資源の利用について学校林の間伐等の体験学習をした。 「原川の生物調査」 地域の原川に生息する水生生物を採集し、生物指標をもとにした水質調査を行った。</p>

受賞名	区分	個人／団体／事業所名	功 績 内 容
			<p>「猪苗代湖の湖岸調査・生物調査」 原川との違いを調べるため、湖岸（崎川浜）で水を採集し、水質の調査を行った。</p> <p>「猪苗代湖の水資源調べ」 戸ノ口堰・十六門橋など、猪苗代湖の水が、実際にどのように活用されてきたのかを現地で確認した。</p> <p>◆省エネ活動 運動エコ委員会が牛乳パックのリサイクル、エコキャップ集め、ごみの分別に取り組んでいる。また、6年生が全校生に向けて、節電・節水を呼びかけるポスターを作成し、校内に掲示した。さらに、全校生の活動として、秋に親しむ会で猪苗代湖の崎川浜のゴミ拾いを行った。</p> <p>〈選考結果〉 湊小学校は、長年にわたり、湊小学校ならではの身近な自然環境を活用した取組であり、また、環境問題だけでなく郷土愛を育むことにもつながっていることから非常に有意義なものであります。 次世代を担う子供たちにとってこうした取組は貴重な経験となるものであり、今後の継続と発展に期待しております。</p>
環境教育部門	団体	川南小学校	<p><功績> ◆ヘチマのグリーンカーテンを育成し、ヘチマの実はたわしとして使用している。 ◆植樹地にクヌギの苗を植樹し、下草刈りや枝払い、雪囲いをしてクヌギ林の保全活動を行っている。 ◆校地内のクヌギ林でドングリを採集し、地区内の野生動物保護施設「くまんち」で飼育されている2頭のツキノワグマの餌として提供している。 ◆各教室に可燃ごみをプラごみの2種類のごみ箱を設置したり、職員室前に分別容器を設置したりして資源のリサイクルに取り組んでいる</p> <p>〈選考結果〉 長年の花の栽培やグリーンカーテンの育成など学校内での取組みに加え、学校外で森林保全活動や保護動物を通じた学習活動など多くの実践活動に取り組んでおります。 また、こうした活動の多くは、北会津地域で実施されており、地域とのつながりを重視しながら環境問題を考える機会を創出しており、高く評価されました。更に、ESD計画を策定し、取組の趣旨や目的を明確にしていることは他校の模範となるものであり、今後、こうした取組の継続と他校への波及に期待しております。</p>
自然環境部門	団体	美しい背あぶりの森をつくる会	<p><功績> ◆4月「背あぶり山クリーンアップ」 一般参加者と遊歩道の清掃、自然観察会 ◆5月「食べられる山野草について」 自然観察を通して、食べられる山菜・木の芽、危険植物の勉強会を実施（悠遊の森で道案内と同時に行う） ◆「東山悠遊の森 里山づくり」 植林（約3,000本の植樹を実施）・下草刈り・除伐間伐・下枝切等里山づくりを一般参加者と会員全員で実施。</p>

受賞名	区分	個人／団体／ 事業所名	功 績 内 容
			<p>〈選考結果〉 約20年にわたり、荒廃した山林の下草刈りや間伐の手入れを行い、美しい森へと蘇らせた活動は、市民と自然の共生という視点において高く評価され、今回受賞されました。 今後、活動の担い手の確保を含め、取組の継続と発展に期待しております。</p>
リサイクル部門	(株式会社 三義漆器)		